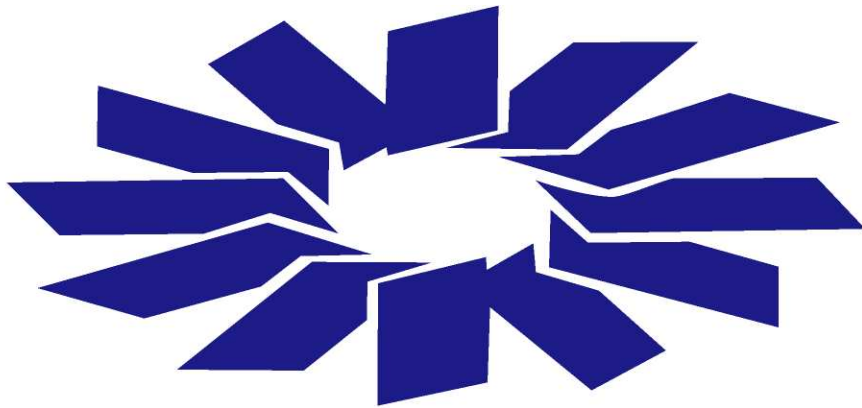


2013年度

2013.07.01～2014.06.30

環境活動レポート



作成日 2014年9月30日

経営者	環管責

太陽精工株式会社

1. 事業活動の概要と環境活動実施体制

1-1 事業所名

太陽精工株式会社

代表取締役社長 小畑 啓

1-2 所在地

本社 : 長野県茅野市宮川大悦-5丸山工業団地B

南工場 : 長野県茅野市宮川10705-1

東京営業所 : 東京都八王子市明神町4-26-8リバーサイドビル3F

1-3 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 : 取締役 蜷川 弘志 南工場常駐

環境管理事務局長 : 品質管理課 片瀬 兵一 南工場常駐

1-4 連絡先

本社 TEL 0266-78-3252

FAX 0266-73-5406

南工場 TEL 0266-72-1263・0266-73-5404

FAX 0266-72-0533

東京営業所 TEL 042-642-1351

FAX 042-642-1362

1-5 事業内容

樹脂切削加工メーカー

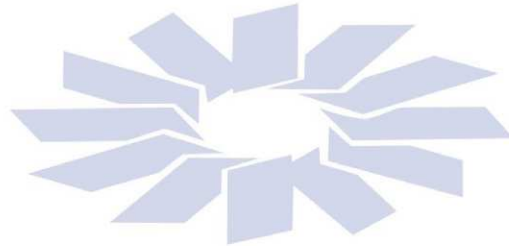
1-6 事業の規模

活動規模	単位	2011年度	2012年度	2013年度
		2011.04~2012.03	2012.10~2013.09	2013.07~2014.06
売上額	百万円	1,861	900	1275
従業員数	人	81	57	58
敷地面積	m ²	8603.8	8603.8	8603.8
床面積	m ²	5116	5116	5116

1-7 事業年度

2013年度 (2013年7月~2014年6月)

2.環境方針



環境方針

- ・環境保護を通じ地域貢献に取り組む
- ・環境関連法の順守と教育を行う
- ・事業活動に伴う環境負荷を低減する為、
下記取組みを継続する
 1. 電力および燃料による
Co2排出を削減する
 2. 水使用量を削減する
 3. グリーン購入に努める

2014年10月1日

太陽精工株式会社

代表取締役社長 小畑 啓



3.環境目標

No	項目	2012年度実績	2013年度目標
1	電気使用量の削減 (CO ₂ 排出量削減) (省エネルギー) 機械・照明設備等	購入電気量 1,357,930KWh 700,691.88 (Kg-CO ₂)	電気使用量を中期目標として 2012年実績を維持目標とする (受注に成行)
			購入電気量 (使用量) 1,357,930KWh
2	LPG使用量の削減 (CO ₂ 排出削減) (省エネルギー) エアコン	LPG使用量 117,813Kg 6,962.7 (Kg-CO ₂)	LPGの使用量を中期目標として 2012年実績を維持目標とする (受注に成行)
			LPGの使用量 117,813Kg
3	総排水量削減 トイレ・手洗い・飲料水	水使用量 1,352 m ³	水使用量を中期目標として 2012年実績を維持目標とする (受注に成行)
			水使用量 1,352 m ³
4	コピー用紙使用量削減	コピー用紙 0.388 ton	紙使用量を中期目標として 2012年実績を維持目標とする (受注に成行)
			コピー用紙使用量 0.388ton
5	廃プラ排出量削減	廃プラ排出量 35m ³	廃棄物を中期目標として 2015年度迄に2012年度排出実績 の1%削減を目標とする
			34.65m ³ 以下

*排出係数 平成24年度中部電力・・・0.516 (Kg-CO₂/KWh) LPガス・・・0.0591 (Kg-CO₂/MJ)

4. 当年度迄の活動内容

環境目標	項目	主な実施事項	取組結果の評価
電気使用量削減	生産設備の稼働率アップ	不良率の低減	◎
	エアコンの設定温度の基準決定	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所 空調 夏季28° 設定 冬季22° 設定 ・部屋の配置を変え事務部門は集結することでエアコン等電気の節電を行う (2014/6/9より) 	×
	蛍光灯の使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各蛍光灯に手元SWを設置 ・工場照明 水銀灯→蛍光灯に変更 	
	パソコンの節電	<ul style="list-style-type: none"> ・10分後 スクリンセーバー ・30分後 モニター節電OFF ・1分後時間 ハードデスクOFF 	
	総合プリンターの節電	<ul style="list-style-type: none"> ・使用後15分で低電力モード ・その後15分でスリープモード 	
ガス使用量削減	エアコンの設定温度基準決定	<ul style="list-style-type: none"> ・工場内エアコンの補助として 1号棟A棟の屋根に地下水を散水 ・1号棟B棟の屋根に地下水を散水 	◎
水使用量削減	トイレの節水	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ用擬音装置の設置 (女子) 	◎
	流し台の節水	<ul style="list-style-type: none"> ・全蛇口に節水コマ設置 ・節水ポスターの設置 	
	洗浄機の節水	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーニング方法の改善により 水洗浄機の使用を中止した。 	
廃棄物排出量削減	コピー用紙	<ul style="list-style-type: none"> ・日程表のコピーをやめ、電子データに切り替える ・裏紙使用の推進 	×
廃プラ排出量削減	廃プラ削減	<ul style="list-style-type: none"> ・分別し、なるべく再生できる物は再生へ ・顧客支給材料は返却する 	◎

評価基準 目標値の達成：◎

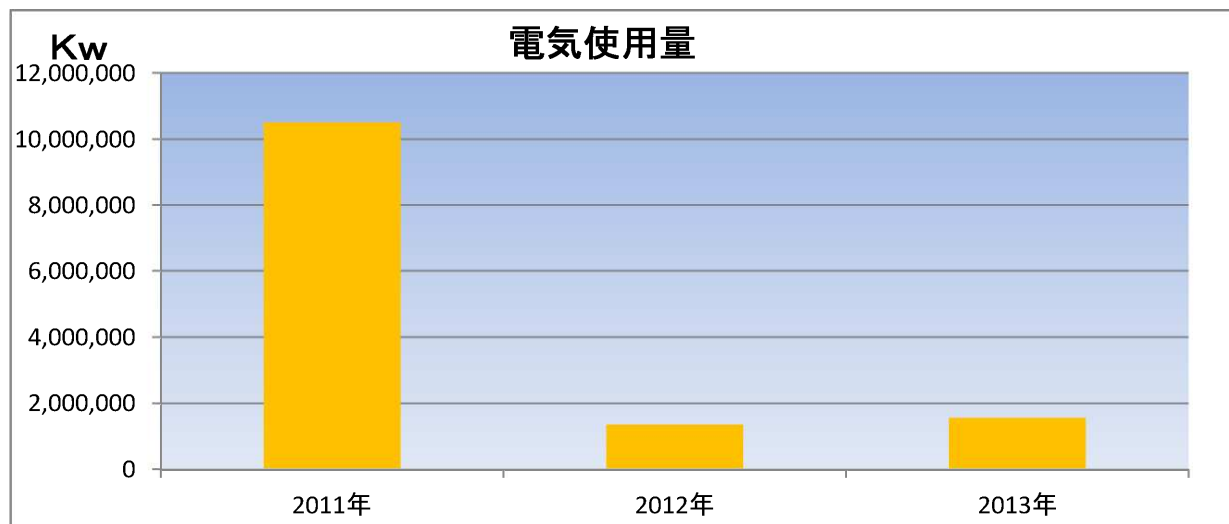
目標値の79%から30%まで：△

目標値の80%達成：○

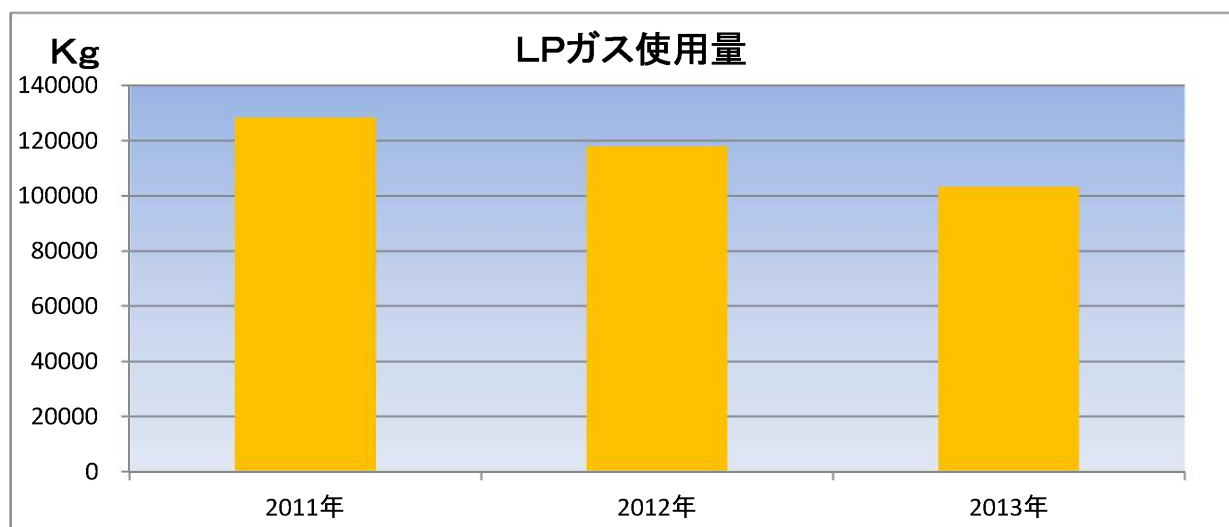
目標値の29%以下：×

5.取組み結果-1

購入電気量 (2012年度実績を維持)	
目標値 (2012年度実績)	1,357,930Kw
実績値	1,560,258Kw
達成率	86.16%

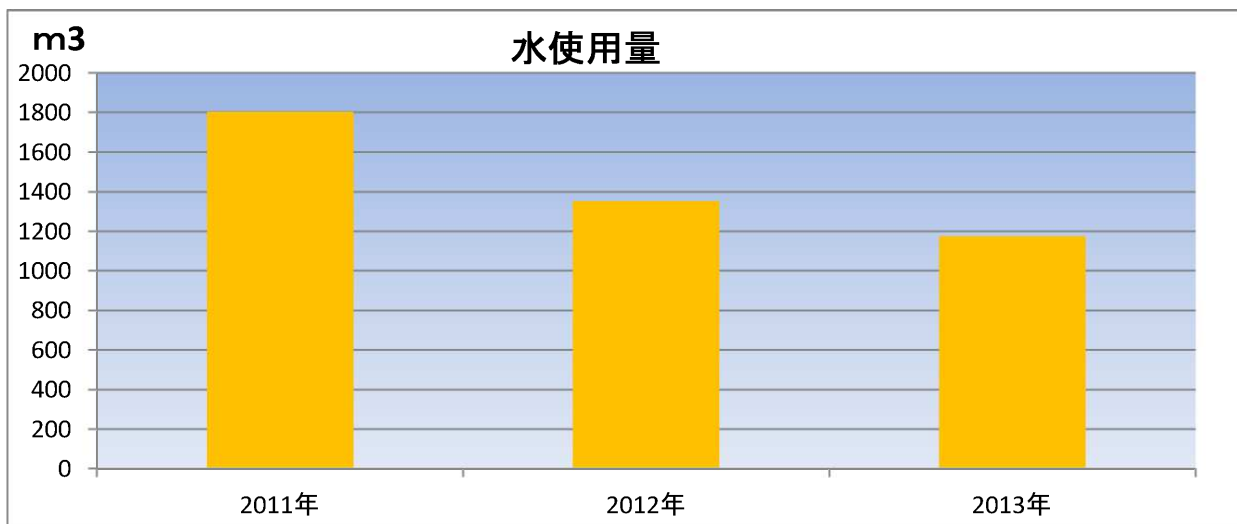


LPガス使用量 (2012年度実績を維持)	
目標値 (2012年度実績)	116,635Kg
実績値	103,258Kg
達成率	112.95%

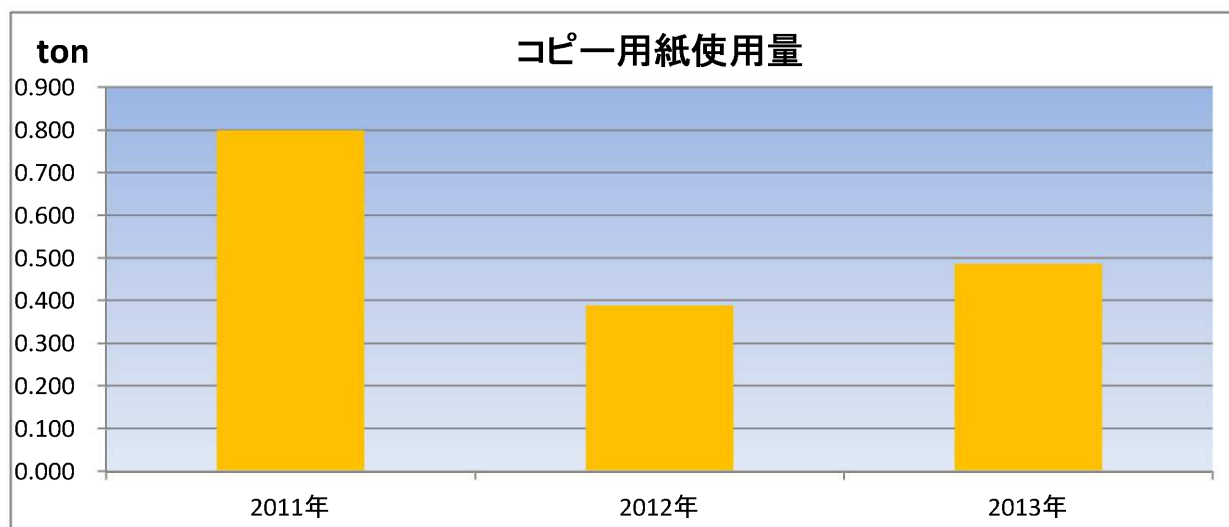


5.取組み結果-2

水使用量 (2012年度実績を維持)	
目標値 (2012年度実績)	1,338m ³
実績値	1,176m ³
達成率	113.82%

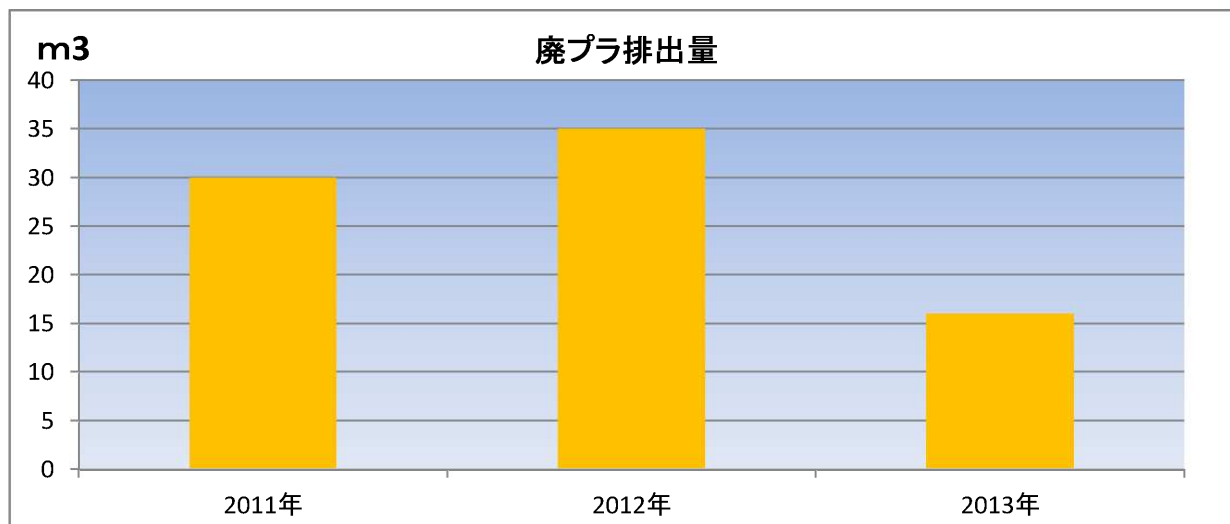


コピー用紙使用量 (2012年度実績を維持)	
目標値 (2012年度実績)	0.384ton
実績値	0.487ton
達成率	78.87%



5.取組み結果-3

廃プラ排出量 1% 削減	
目標値	34.65m ³
実績値	16.00m ³
達成率	216.56%



評価

- 電気使用量の削減

年度計画に対し受注が好調であり消費電力が増えた。一方作業の合理化・節電・コピー機の等々の削減目的で本社工場は一部を除き南工場へ移転しトータル合理化を図ったがデータの縮めに該当する日数が少なく効果が見えていない。

次年度はその効果に期待したい。

このような窓の太陽熱を断熱した。



- 一方生産設備の電気使用量に影響が出る不良削減活動で効果は出ている。

- LPガス使用量の削減

エアコンの動力源に使用しているが、今年は猛暑の日が極端に少なくエアコンの稼働が前年に比較し、少なかった。

又工場の一部の部屋の窓から太陽熱が入る個所があり、ここを断熱しLPガス消費を削減した。

*断熱効果測定をした結果、効果が出ているので、同様な窓に今後展開したい。(上記画像)

- 水使用量の削減

従来作業で使用している『水洗浄機』を全面使用禁止としエアガン使用に切り替えたためにこれに使用した水が削減できた。(一方電気使用量が増える結果となった)

- コピー用紙使用量の削減

Isoに関する文書作成、顧客へ提出する文書が増え消費量が増えた。

極力電子データで送信したものの、紙ベースでの作成が必要であった。

- 廃プラ排出量の削減

従来材料支給で加工していたものを顧客との話し合いで残った端材、切粉は顧客へ返却することとなり予想外の削減となった。

*顧客優先な受注のため商品毎に打ち合わせし、実状理解を求め対応したい。

6.環境関連法規一覽

1) 環境関連法規一覽及び適合性確認結果

区分	名称	対象施設	対象内容	記録・文書	適合性
騒音	騒音規制法	コンプレッサー	特定施設（空気圧縮機 7.5Kw以上） 保有により届出	届出書	○
振動	振動規制法	コンプレッサー	特定施設（空気圧縮機 7.5Kw以上） 保有により届出	届出書	○
土地	工業用水法	井戸水採取	井戸水採取許可 （指定地域）	届出書 許可済	○
廃棄物	廃棄物処理法	産業廃棄物	産業廃棄物管理表の発行	マニフェスト	○
危険物	消防法	LPGタンク	・LPG 保有量本社 985Kg ・LPG 保有 量南工場985Kg /498Kg	届出書	○

2) 違反・控訴等の有無

過去3年間関係機関からの指摘、利害関係者からの苦情、控訴はありませんでした。

7.代表者による全体評価と見直しの結果

電気使用料については目標達成出来なかったものの、前年実績値ベースのため目標設定方法の見直しが必要。個別案件としてはまだまだ削減可能な箇所は存在するので、無駄無い電気使用を心がけるよう指導する。コピーにあたっては裏紙使用の効果はあるものの「裏紙だから問題ない」という思考では物足りない。トナー消費やコピー機自体の電気使用料を鑑みるとそもそもの印刷量を減らす事が先決である。会議の際にはノートPCを支給しているメンバー分は資料印刷を控える事。2014年度は新環境方針を制定するが「環境保護を通じた地域貢献」を重点として活動してもらいたい。

2014/9/30

代表取締役社長

小畑 啓

8.緊急事態『訓練』実施状況

1) 避難訓練ストーリーの作成・・・2014.09.10

(1次避難場所→避難場所へ集合、点呼までのストーリーを作成)

東海沖地震、震度を想定し緊急避難訓練

2) 放送訓練用原稿作成・・・・・・2014.09.10

3) 避難訓練の実施・・・・・・2014.09.16

1.避難場所へ避難 3.避難人員数報告

2.人員点呼 4.講評

4) 油漏れ対応訓練・・・・・・2014.09.16 (東海沖地震を想定して)

避難風景



報告風景



講評風景



油漏れ対応訓練 (非常用油液吸着マットを使用)



反省・評価

今までは消火訓練が主体での訓練であったが昨今の日本の状況を鑑みて地震時の避難が以下に早くできるかを時間測定し実施した。出口より遠い作業者が如何に早く避難できるかを今後検討し、改善したい。